

114
A 4212



英國

カウスケンシントン博物館長 ヒリップパ、シ、カウス

式儀ハ前ニ及所語置後通歐洲ニ於テ頗ル有名ノ
人ニ有之西曆千八百七十三年澳國大博覽會ノ節英
國ノ總裁タル同國皇太子ノ書記官相勳事勢官長
ノ場ヲモ擔任維府出張中御國出品展列場其外百
般ノ事故ニ付拙者及ニ我事勢官等別段ノ懇情ニ預
リ俟人ニ有之爾後拙者滯澳中病ニ罹リ「イシル」ト申
地ニ保養ノ節該式態ニ未訪一夜同宿語次ニル
号沈論ノ事ニ及ニ後未右沈没品ノ代品未集致度
冀望ノ段懇話ニ及ニ分袂後ニ於テハ別ニ再託致
儀義モ無之俟處此微志ヲ不忘這回英國及ニ佛
國其外ノ製品共別紙ニ録ノ通蒐集沈没品ノ代トシテ

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈



御國博物館へ寄贈後趣公文ヲ以テ申來り且ツ該式ノ親友美術社会長ドクトル、ドレセル氏ノ日本ニ歴遊スルニ因テ博物館中ニ於テ右贈品序次陳列方ヲ委託シ去ル十二月廿六日西郷副總裁同行來ノ費府ヨリ横濱到著相成翌廿七日物品ハ英國ヨリ横濱ニ著港致候儀實ニ斯ノ數方金ノ貨物ヲ偶得致候事オノウエニ式本誼ノ深キハ力論ドレセル氏ノ厚意歡喜ニ不堪次第殊ニドレセル氏ノ渡來ハ美術工作上ニ於テ裨補不尠義ト存候然レニ拙者即今貴局ニ関涉無之ニ付右公文及ニ贈品目錄尚又併參看ノ為メ拙者ハ寄送ノ内狀訳共別紙引渡目錄之通一併相添責下江及所引渡儀条物品請取方等可然御手配相成度尤横濱入関税ハドレセル氏ヨリ拂出有之候趣ノ虞右海

関税迄為差出候而者如何モモ氣ノ毒ノ次第ニ付西郷副總裁申談ニ彼ヨリ差出候税金ハ下先ツ相戻可異迄而荷物引取前向分ノ談合ニ可及段過ニ三十日關澤事務官ヲ以テ税関長江掛合置候間此儀ハ澳國殘務掛ニテ所分致ニ候上所引渡可及候就テハオノウエニ式ドレセル氏ノ冀望スル所ト個ノ目的トヲ善ク為相果其高義ニ西州度ト存候間馬ノ御高量其筋ハ御申請ノ上可然所款待有之度候依テ右御引渡方事情大畧申追儀也

元澳國博覽會副總裁

議官 佐野常民

博物館長 西田久成殿

大義 自

進テドクトル、ドレツニル式ハ近日京樞湖ニ遊歴
可致由申聞幸責下御先行トシテ奈良正倉
院寶庫御関鎖ノ趣兼及候ニ付幸序ニ任
セ、該式拜見等相叶候ハ、別テ歡喜可致ト
存候此儀モ申添候也

書類引渡目録

- 一 英國 サウスケンシントン博物館長 スリッブ、ニ、オ
クニ式蒐集寄送ノ物品目録一冊
- 一 右目録談書一冊
- 一 オウエニ式ヨリ物品寄贈ニ付テノ公文一通
但是ハ費府ニテ西御副總裁ニテ請願
申彼地へ錢ニ来リ候ニ付以便入手次第引渡
可及
- 一 右公文ノ大意書取一葉
- 一 オウエニ式ヨリ佐野常民ニ贈ル内翰之談一冊

拜啓陳者今般我英國及歐洲諸國藝術製品ヲ蒐集シ我博
物館ノ名ヲ以テ謹テ貴國皇帝ノ博物館ニ贈附ス閣下幸ニ之ヲ領受シ
今予管理スル公解ノ寸志ヲシテ空ニカラシムルナキヲ是レ冀フ蓋シ此附品タル
極テ輕微ナリト雖モ聊カ貴國人民ニ對シテ敬意ヲ表シ且ツ貴國ノ藝
術ヲ珍重シ増々之ヲ閃進セント欲スルカ爲メナリ貴國人民之ヲ見テ歐洲
製品ノ性質狀自ヲ知リ又更ニ裨益スル所アラシカ然レトモ貴國ノ藝術ハ廿萬
國ニ秀タルモノニシテ永ク失フアルベカラズ閣下既ニ已ニ之ヲ領承ス諸人ヲシ
ニ必ス措失アラシムルヲナカルベシ
右得貴意度如斯敬具

倫敦ソウス・ケンシントン
博物館

千八百七十六年十月一日

ピリツプ・シオーウン

博物館長
佐野常民

閣下

賢契足下

僕足下ト手ヲ「イシル」ニ分チシ已来足下ノ嘗テ千八百七十三年ニ於テ
苦心蒐集セラレシ物品沈没シタルニヨリ之ヲ補フベキ英國製作品ノ
見本ヲ得ント冀望セラレ、トフ片時モ忘レザリキ

僕此志ヲ成スノ方法ヲ得ルヲ甚タ難カリシカ日本ヲ愛スルヲ深ク且足
下ノ高義ヲ慕ヒ足下ノ厚德ニ感スルヲ以テ毫モ屈撓セシナシ茲ニ
僕カ二十年來相識ルニ親友アリ百工應用ノ學ニ精通スル博士ナリ
ニ三年僕切ニ斯人ニ説クニ日本ニ遊フヲ以テセシカ其事漸ク成リ今日之
ヲシテ親ク斯書ヲ足下ニ呈スルノ歎ヲ得セムルニ至レリ其發スル臨ミ我
輩ハ龍動府ノ大作家中ニ就キテ予カ爲ニ若干物品ヲ貴邦ニ贈
呈シテ以テ千八百七十三年ノ會後沈没セシ見本ノ英産ノミナリ也
補ハントスル者ヲ求メタリ

「ロンドス」社ハ高店ヲ「ロンドンホール」ニ有シ僕ノ旧知ニシテ又「ドク

一家トテ並ニモノナシ
ハナリ貴邦ノモノナシ
テハ惟モ藝術家
タルヲ專ラ自國ノ藝
術ニ

トルドレッセル氏ノ相識ナルカ幸ニシテ僕ノ望ニ副ヘンコトヲ昔シ僕ヲ
許ルシテ適宜ノ物品ヲ採擇セシメタリソノ品タル誠ニ該社ノ厚意ニ
應スルニ足り又貴國博物館ニ列スルニ足ルモノナリ
「ドクトルドレッセル氏ハ謙退シテ敢テ自ラ足下ニ告ケサルベシト雖也
此物品ハ實ニ「ドレッセル氏ノ撰擇ニ係ルモノ多シ何者我邦ノ工人ハ一人
ニシテ工人ト藝術家トヲ兼スルモノナケレバナリ貴邦ノ工人ニ至テハ性不
藝術家タルハ專ラ同國ノ藝術ニシテ條々ニテ上進ス此故ニ僕ハ曾
テ日本人ノ我見本ヲ模擬スルヲ欲セサルナリ英人ノ日本ヲ模スルハ至當
ナリト雖也貴邦ノ作家歐洲ヲ擬スル時ハ自國ノ技ト富トヲ失
フベシ
然リト雖也公衆及工作家教育ノ爲メ此洲製造所ノ見本ト其
ノ用トヲ彼輩ニ示スノ緊要ナルハ僕ノ信スル所ナリ故ニ各博物館各
邦ノ物品ヲ具フベシト云ハンノミ

僕ノ足下ニ送附スル所ノ目錄ヲ見ハ所贈品ノ重大緊要ナルヲ知ルベシ
「ドクトルドレッセル氏ハ既ニ之ヲ採集スルノ勞ヲ執レリ故ニ又足下ノ許可
ヲ得テ自ラ之ヲ展示排列セシコトヲ期セリ然レニナラズ同氏ノ解説辨
明スル所亦甚タ有益ナルヘシ足下「イシニ於テ僕ニ告クルニ維府採蒐
ノ物品沈没セシコトヲ以テセラシカ今日方テ足下當時ノ所托ヲ成孰
スルヲ得ルハ誠ニ僕ノ大幸ナリ此舉マ又世人ヲシテ足下ノ威カヲ歐洲
ニ有スル依然タルヲ知ラシムルヲ得ベシ何者足下ヲ助クルノ友アリテ存スレ
バナリ足下「ドクトルドレッセル氏ノ功勞ニ報ヒ之ヲシテ足下ヲ友視シ凡ソ所
要ノ事アラハ足下ヲ煩ハスヲ得セシシコトヲ是僕カ功足下ニ望ム所ナリ
「ドクトルドレッセル氏ハ暫ク江戸ニ逗滯シソノ齋シ来レル贈品ヲ排陳シタ
ルノ後日本内地ヲ歴遊セント欲スルナルベシ僕ソノ幸ニ足下ノカニ藉テ歴
遊ノ志ヲ成スル得シコトヲ期望ス
這回「ドレッセル氏ノ日本ニ遊フハ貴邦博物館ノ爲メ大要事ト云フベ

シ足下所要ノ物アラハ明カニ氏ニ告ケヨ「氏ノ我英國工作家ニ於ケル威カ甚
タ大ナルニヨリ貴國博物館ヲシテ所需ノ品物ヲ得セシムル」ト必ス易ク
ルベシ

「ロンドス」社ハ甚々懇信ニシテ僕ニ乞フニ足下ノ紹介ヲ煩ハシテ此精美
ノ蒐集ヲ貴政府ニ呈スルノヲ以テシ候セテ「ドレツセル」氏龍動ニ歸
ル日貴邦博物館需要ノ品物ヲ該社ニ告知セン「ヲ冀フ」ノ意ヲ陳
貴國博物館ノ親友トナリ常ニ之カ爲ソニ盡カスル特權ハ僕固ク他
人ノ之ヲ奪フヲ許ルサスト雖モ「ドクトルドレツセル」氏ハ凡ソ見本類ニテシ
貴國博物館所要ノモノハ一切研究スルノ勞ヲ辞セサルベシ而テ「ドレツセル」氏
ノ日本工作場ヲ尋視研究スルニ於テ足下ノ善ク之ヲ贊助シ氏及ソノ
友「ロンドス」社ヲシテ足下ノ恩ニ感ニシテ已マザラシムルニ至ルベキハ僕ノ固信スル
所ナリ故ニ「ドクトルドレツセル」氏貴邦ニ至ルノ好機ニ衆シ善ク其ノ利益

ヲ收メラレヨ氏ハ必ス忠信善良ノ友タルベシ僕氏ヲ煩シニ三ノ其薄物ヲ足
下ニ呈シ以テ僕ノ戀々ノ意ヲ忘ルナカラシムル幸ニ受納セラレヨ又我博
物館蔵品ノ貴重ナル者ニ三ヲ寫セル石坂画ヲ附シテ以テ貴邦博物館
ニ列セラレシムルヲ乞フ

足下「フリツ」ヲ遇スルノ厚キハ僕實ニ謝スル所ヲ知ラス「フリツ」ハ百
事皆足下ノ厚情ニヨルヲ以テ足下ノ如キ貴重善良ナル庇護者ニ
陪從スルヲ得タル幸福ノ眞價ハ彼自ラ之ヲ熟知ス而シテ僕亦終身
足下ノ徳ヲ忘ルヘカラス僕ト足下トノ友誼ハ離別ニヨリテ消セス疎カ
ス日ニ月ニ親密ヲ加フルアルノミ「フリツ」能ク其行事ヲ以テ足下ノ眷
顧ニ適セシメン「ヲ務メシ」僕ノ喜フ所ナリ

僕別ニ公翰ヲ裁シテ以テ「ロンドス」社ノ書ヲ足下ニ傳呈ス該社ノ書ハ
誠ニ感スヘキモノニシテ即チ此精美ノ蒐集品ヲ貴邦博物館ニ献ス
ルノ事ヲ載セリ

於龍動 千八百七十六年十月二日

辱愛フヒリツプカンリスオーウエン 拜具

佐野君閣下